

研究名：喀血症例の異常血管における血管新生因子の発現を探索する後ろ向き症例集積研究

研究責任者： 呼吸器内科 職名 部長

氏名 守尾 嘉晃

研究の背景・意義・目的：

慢性感染性肺疾患や気管支拡張症の経過で出現する喀血は、致命的で患者さんの日常生活に深刻な障害を来します。喀血の発症機序は、気管支動脈-肺動脈シャントにおける異常血管の破綻により生じると推測されていますが、病巣部の異常血管の発症機序は未だに不明です。血管構造は、血管内皮細胞増殖因子、アンギオポイエチンなどの血管新生因子の相互作用で恒常状態が保たれ、炎症病態で血管新生因子の病的なバランスによって異常血管が出現することが推察されています。そこで、当院で止血管理が困難で肺切除が行われた患者さんの病巣部の異常血管における血管新生因子の発現を評価します。

研究の方法：

・対象となる患者さん

当院で止血管理が困難で肺切除が行われ、当院に検体が保存されている患者さん

・研究期間 院長の研究実施に関する決定通知発行後から 2035 年 3 月 31 日

・利用する検体、カルテ情報

検体 肺切除 手術標本

カルテ情報 診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図）

・検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

研究組織：

この研究は、当院のみで実施されます。

個人情報の取扱い：

研究に利用する検体や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対応表を当院の研究責任者が作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表は、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

研究計画書等の公表：

この研究に関連した各種データについて知りたい場合は、担当医師を通じてその情報の開示を求めることができます。また、ご希望があれば、研究計画書や研究の方法に関する資料の閲覧や、ご提供することも可能です。ただし、他の患者さんの個人情報や研究の知的財産等など、情報の種類によっては開示できないものがあります。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、ご自身の検体やカルテ情報を当該研究に利用することをご了解できない場合などは、研究対象とはしませんので、研究責任者までお申し出ください。その場合でも皆様に不利益が生じることはございませんのでご安心ください。

<問い合わせ先> 独立行政法人国立病院機構 東京病院呼吸器内科 氏名：^{えのもと}榎本 ^{ゆう}優、^{もりお}守尾 ^{よしてる}嘉晃

住所 東京都清瀬市竹丘 3-1-1

電話：042-491-2111（代）

独立行政法人国立病院機構 東京病院 院長 ^{まつい}松井 ^{ひろとし}弘稔